

(2)委託事業

・なし

(3)自主事業

- ・窓口でのオリジナルグッズ等販売
- ・クルーズ船若松ふ頭寄港時にUW旗掲揚および出港時に見送りの汽笛を吹鳴
- ・企画展「台風との闘い・洞爺丸はじめ5 青函連絡船遭難記録」の開催
- ・摩周丸就航 60 年を記念した元青函連絡船乗組員による模擬出港風景の実施 など

2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績

- ・年末年始の臨時開館（12/31～1/3）

3 市民ニーズの把握の実施状況

- ・館内3か所にアンケート用紙および回収箱を常設し、利用者からの意見を募っている。
○回答者数：212名
○主な意見
 - ・元乗組員の方に丁寧に解説していただき、とても楽しめた。
 - ・青函連絡船100年のパネル展示が特に興味深かった。
 - ・子供の頃に乗船した時のことを思い出して懐かしかった。
 - ・2065年の就航100年を目指してこれからも保全と公開を続けていってほしい。など
- ・受付や案内時に要望等を把握するよう対応している。

4 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

- ・令和7年度の月別利用者数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4,764	7,138	7,225	7,662	10,943	8,610	7,802	6,155	4,910	3,566	4,543	6,869	80,187
有料入館者数	4,444	6,664	6,813	6,979	10,283	7,828	7,284	5,768	4,618	3,334	4,300	6,462	74,777
免除者数	320	474	412	683	660	782	518	387	292	232	243	407	5,410

- ・年度別利用者数等（単位：人）

	指 定 期 間						
	←	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	→	令和7年度
利用者数		29,326	54,440	62,608	75,114		80,187
有料入館者数		26,995	52,132	60,211	70,727		74,777
免除者数		2,331	2,308	2,397	4,387		5,410

5 指定管理者の収支状況

← 指定期間 →				
(単位：千円)				
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入	40,530	41,697	44,338	47,496
事業収入	27,963	32,677	35,817	38,975
入館料収入	23,429	27,470	32,396	34,280
事業収入	4,534	5,207	3,421	4,695
その他（寄付／助成金等）	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0
雑入（受取利息等）	0	0	0	0
委託料・補助金収入等	12,567	9,020	8,521	8,521
委託料	8,521	8,521	8,521	8,521
休業補償費・収支補填	4,046	499		
支 出	40,913	40,853	39,945	42,762
一般管理費	7,827	8,485	9,159	9,010
旅費交通費	57	95	61	6
通信運搬費	146	129	403	119
消耗品費	432	462	786	820
光熱水費	5,778	5,732	5,811	6,028
保険料	136	157	148	0
広告宣伝費	54	124	74	88
その他（事務費等）	1,224	1,786	1,876	1,949
人件費	22,508	21,987	21,347	22,402
給与・諸手当	20,854	19,819	19,768	20,708
法定福利費等	1,654	2,168	1,579	1,694
施設管理費	5,661	6,019	6,183	6,659
修繕費	1,120	1,363	1,528	1,479
業務委託費（清掃等）	4,541	4,656	4,655	5,180
事業費	4,917	4,362	3,256	4,691
収支差額	▲ 383	844	4,393	4,734
当該施設の利用者一人当たり 税金投入コスト	0.16	0.14	0.11	0.11

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 ・ 無

○指定管理者

- ・ 月報（毎月の入館者数等の報告）の作成・提出
- ・ 実績報告書、収支決算書の作成・提出
- ・ 利用者アンケート調査の実施・集計・報告
- ・ 評価シートによる自己評価の実施、提出

○市

- ・ 実地調査、ヒアリングの実施（随時）
- ・ 評価シートによる実績評価の実施、通知

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・応募時の要件は十分満たしている。 ・職員の配置は適切に実施している、管理に高度な専門知識・技術が必要なため、指導・伝承を図っている。 ・労働条件、賃金水準は確保されているが、賃金水準は高度な専門業務に対しては低い。 ・業務処理要領を超える業務を遂行している。 ・専門知識を持った職員が保守・点検に当たり、仕様以上の維持補修を行っている。 ・館内清掃は、施設の老朽化を感じさせないほど、高水準を保っている。 	<p>職員の高齢化がいちばんの問題だが、60歳代半ばの元乗組員の新規採用を行っており、新規に採用した職員は連絡船での経験、連絡船以外での経験を生かし、施設の老朽化も進むなか、職員の専門知識を生かして適切な保守管理を行っていく。</p>
サービスの質の状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の接遇状況は水準を満たしている。 ・従業員の資質向上としては、元青函連絡船乗組員の職員を増やしなが、全体の若返りを図っている。 ・動力昇降機がないため、身体の不自由な人は利用が困難。 ・車両甲板等が見学できないとの要望には応えきれないが、モニターカメラを設置するなど対応をしている。 ・グーグルやトリップアドバイザー等に情報提供し、評価は高い。 ・ガイドツアーのWeb予約を柔軟に活用している。 ・光化されたのでフリーWifiも便利になった。 ・市民への摩周丸活用を働きかけている。 	<p>職員の大半が元青函連絡船乗組員となり「思い出話のできる博物館」としてのアドバンテージは高い。乗船経験のない見学者やそもそも青函連絡船を知らない世代が増えたなか、職員およびボランティアガイドがわかりやすい説明を行っている。</p>
団体の経営状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<p>入館者数は2024年度75,114人から2025年度は80,187人と増加しているが、現在の世界情勢からインバウンドの入館者が不透明であるため、市民および国内旅行者向けのイベント等を企画し集客を図る。</p>

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡船の元乗組員の雇用や、ボランティアガイドの充実など、従業員の配置は適切に行われている。 ・専門知識を持つ職員により適切に管理され、維持補修を実施している。 ・日常の清掃、特別清掃のほか、美観維持に努めている。 	<p>今後においても、適正な維持管理を実施するとともに、安定した入館者数確保のため、効果的なPRや広報活動のほか、市民の利用増加につながる自主事業についても積極的に実施していただきたい。</p>
サービスの質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識のある職員等による展示案内や説明が好評を得ている。 ・未公開部分のカメラでの観覧やパンフレットの制作・頒布、年末年始の臨時開館等、利用促進に努めている。 	<p>元連絡船乗組員やボランティアガイドによる案内や説明に対し、利用者の満足度は高いと見受けられることから、今後も従業員の接遇やサービスを維持するとともに、隣接する函館クルーズターミナルを利用する外国人旅行者の増加対応に努めていただきたい。</p>
団体の経営状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数の増加に伴い、利用料金収入も伸びている。近年の経済情勢により光熱水費や業務委託費等が増加しているにも関わらず、健全な経営と事業収支の維持に努めている。 	<p>今後においても、広報活動の強化や展示内容の工夫、各種イベントの実施により施設の利用促進を図り、適正な事業収支、健全な経営の確保に努めていただきたい。</p>

◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。